

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 6 月 18 日 (2020.6.18)

【公表番号】特表 2019-523752 (P2019-523752A)

【公表日】令和 1 年 8 月 29 日 (2019.8.29)

【年通号数】公開・登録公報 2019-035

【出願番号】特願 2018-558765 (P2018-558765)

【国際特許分類】

C 0 7 C 43/17 (2006.01)

C 0 9 K 5/04 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 43/17 C S P

C 0 9 K 5/04 F

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 30 日 (2020.4.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

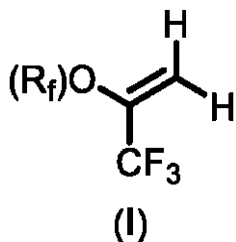
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下の一般式 (I) :

【化 1】



(式中、 R_f は、2 ~ 10 個の炭素原子を含有し、任意選択により (i) O 若しくは N から選択される少なくとも 1 個の鎖状に連結したヘテロ原子、又は (i i) O 若しくは N から選択される 1 個以上の鎖状に連結したヘテロ原子を任意選択により含有する 3 ~ 6 個の環炭素原子を有する環構造、を含有する直鎖又は分岐鎖の過フッ素化アルキル基である)

で表される、ハイドロフルオロオレフィン化合物。

【請求項 2】

R_f が 3 ~ 10 個の炭素原子を含む、請求項 1 に記載のハイドロフルオロオレフィン化合物。

【請求項 3】

請求項 1 に記載のハイドロフルオロオレフィン化合物を含む作動流体であって、前記ハイドロフルオロオレフィン化合物が、前記作動流体中に、前記作動流体の総重量に基づいて少なくとも 25 重量 % の量で存在する、作動流体。

【請求項 4】

デバイスと、

前記デバイスへ又は前記デバイスから熱を伝達するための機構であって、請求項 1 に記載のハイドロフルオロオレフィン化合物又は作動流体を含む熱伝達流体を含む、機構と、

を備えた熱を伝達するための装置。